

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座 731-677
 発行人 梶山広美
 編集人 山田 真

No.404 目次

- ◆役員立候補者公募の結果について…… (2)
- ◆New Yearパーティを開催します！…… (3)
- ◆地区だより…… (4)
- ◆平成27年度日臨技中部支部
生物化学分析検査研修会に参加して…… (5)
- ◆第56回愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会…… (6)
- ◆講演会…… (6)
- ◆公益社団法人愛知県臨床検査技師会
ホームページ…… (8)

広報部活動について

広報部長 山田 真

広報部は「会報らぼニュース」、「会誌らぼ」の発刊、愛臨技ホームページの運営を通じ、県民並びに会員皆様に有益な情報を迅速に発信することを責務としています。

渉外部門の一部である広報部は平成26年度に定めた「組織強化」「成熟した組織の運営」「会員意識の向上」の3つの柱の方針に基づき、愛臨技ホームページに「県民向けページ」の新設や「学術研究班ページ」の再構築を行い本年5月1日よりリニューアルいたしました。また、広報誌などの発送方法につきましては総務部門と協議をかさねております。学術誌としての会誌「らぼ」の掲載内容については1月にアンケートを配布し会員皆様のご意見をいただくべく準備を進めております。

愛臨技ホームページは平成11年6月の開設よりリニューアルを含め皆様に活用しやすいページや広報の迅速性を目指して更新して参りました。本年度のリニューアルは「一般の皆様へ」のページを新設し愛臨技活動を一般向けに紹介しています。「学術研究班ページ」は研究班活動・行事予定、お知らせ、掲示板など書式を統一し、活動計画や活動報告も閲覧できるようになりました。今後もより一層各研究班ホームページ担当者とホームページ運営委員が協力しページの充実を図ります。また愛臨技行事参加申し込みがWebで可能となり「2016 NewYear パーティ」の参加申し込みから運用いたします。最新で正確な情報の提供を心がけておりますがお気づきの点がありましたら広報部にお知らせください。

らぼニュースは広報誌として紙面ならではの情報を構成や表示内容を工夫し、PCや携帯端末などの電子情報と重複はありますが皆様に必要な情報や身近な話題などの提供を心がけております。皆様からの寄稿をお待ちしております。会報「らぼ」は学術誌として年1回発行しております。本年は学術誌としての掲載内容について検討して参ります。

今後も愛臨技広報部にご支援賜りますようお願い申し上げます。

愛役選発第1号

平成27年11月1日

公益社団法人愛知県臨床検査技師会

会 員 各 位

公益社団法人愛知県臨床検査技師会

役員推薦委員会

委員長 丹羽 京太郎

役員立候補者公募の結果について

平成28・29年度の会長及び副会長、監事の役員立候補者は、下記のとおりです。立候補者の資格審査において問題ないことから、「役員推薦規程」第4章第11条より会長候補者、監事候補者を選挙に依らず次期定時総会へ推薦することと決定しました。なお、副会長につきましては、定数3名のところ5名の立候補者がありましたので、選挙により選出することに決定しました。選挙につきましては今後ご案内させていただきます。

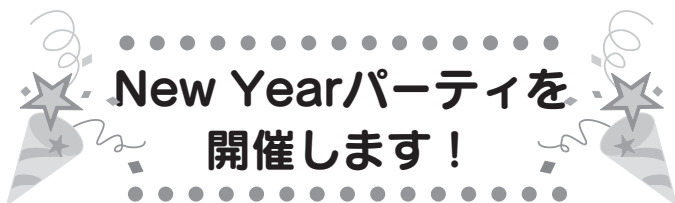
記

《会長候補理事立候補者》 相 山 広 美（岡崎市医師会公衆衛生センター）

《副会長候補理事立候補者》 中 根 生 弥（JA 厚生連豊田厚生病院）
岡 田 元（JA 厚生連安城更生病院）
藤 田 孝（藤田保健衛生大学病院）
所 嘉 朗（愛知県がんセンター中央病院）
岩 尾 文 彦（国立病院機構 名古屋医療センター）
届出順

《監事立候補者》 山 崎 正 夫（山崎法律事務所）
松 本 祐 之（名古屋大学医学部附属病院）

以上



New Yearパーティを 開催します！

恒例となりました「New Yearパーティ」を下記のとおり企画いたしました。昨年に引き続き、愛臨技事務所に近接した名古屋国際センタービル25F東天紅にて開催致します。

例年、多数の会員に参加して頂いておりますが、今後の技師会を担っていく会員にも是非、参加してほしいと思います。どうぞ、新人や中堅技師にもお声をかけて頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、準備の都合がありますので、12月25日(金)までにWeb「愛臨技行事 参加申し込み」から申込、または下記出席表にてFAX、あるいはメールにてお申し込み下さい。

記

日 時：平成28年1月15日(金) 19:00～21:00
(受付は18:30より行います)

場 所：東天紅 名古屋
名古屋市中村区那古野1-47-1
国際センタービル25階

電話 052-562-1015

地下鉄桜通線「国際センター」下車すぐ
名古屋国際センタービルの地下とつながっています

会 費：5,000円

当日、徴収致します。なお、キャンセルは1週間までにご連絡下さい。

1週間以内の場合は、キャンセル料が発生しますので、宜しくお願い致します。

申込期限：平成27年12月25日(金)

問合せ先：名古屋医療センター統括診療部 臨床検査科
岩尾 文彦 (イワオフミヒコ)

電話：052 (951) 1111 PHS 6669

メールアドレス：kensaboss@nnh.hosp.go.jp



web「愛臨技行事 参加申し込み」からの活用をお願いします

愛臨技New Yearパーティ出席表

平成27年 月 日

平成28年1月15日(金)の愛臨技NewYearパーティに出席します。

施設名 _____

電 話 () _____

出席者氏名

1. _____ 男・女

2. _____ 男・女

3. _____ 男・女

4. _____ 男・女

5. _____ 男・女

締切り：平成27年12月25日(金) 必着

送付先：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所

FAX 052 (586) 5680

常滑市民病院新設移転

常滑市民病院 臨床検査センター 西尾 信哉

平成27年5月1日に、老朽化が著しく衛生面や、耐震面に不安を抱えた旧病院から移転をし、常滑市飛香台に新病院が開院しました。

新病院開院により施設設備や環境が大きく変わりました。衛生面の改善はもちろん、免震構造を採用しており災害時の医療にも対応できるようになっております。紙カルテから電子カルテへの移行いたしました。電子カルテに慣れていないスタッフが多く、問い合わせや操作方法の指導に日々奮闘しております。

また、当院は全国で４番目となる特定感染症指定医療機関（新感染症の所見のある患者、一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ等感染症患者の入院を担当させる医療機関として、厚生労働大臣が指定した病院）として特定感染病床が２床開設予定となっております。常に稼働する病床ではないですが、現在、開床に向け新感染症患者受け入れのためのマニュアルの作成・整備や実際の患者受け入れを想定しての動作確認など定期的なトレーニングを行っています。今後もトレーニングを重ねていき、本稼働の際にはスムーズに対応できるようにしていきたいと思っています。

さて、当院の臨床検査センターについてですが、14名の正職員（うち2名は再雇用）とパート職員3名、合わせて17名の検査技師とパート事務員1名の合計18名で業務を行っております。検査室は、微生物検査・病理検査・生理検査・血液検査・輸血検査・一般検査・生化学/免疫検査の各部門の検査のほか



に、採血業務や健診業務も臨床検査技師が行っています。

今後の課題としては、検査説明・相談や今年の4月から検査技師の業務拡大として始まった検体採取にどのように対応していくかなど課題はまだたくさん残っています。

新病院が開院してから、外来患者数は増えており検査の件数も増えてきています。開院から約半年が経ちましたが、システムが大きく変わったため患者さんにとっては旧病院の方がわかりやすかったと思う点があるかもしれません。今後は「新病院になってよかった」と患者さんに言ってもらえるよう頑張っていきます。

最後に、新病院建設がこれから予定されている施設や、現在進行形の施設もあるかと思います。新病院開院にあたって一番重要な点は、新病院関連業務を行うことができるための十分な人員の確保と自分自身が患者にならないようにすることだと思います。

2015年10月9日現在 正会員数 3,046名

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。
申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

※求人情報、理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

平成27年度 日臨技中部圏支部 生物化学分析検査研修会に参加して

藤田保健衛生大学病院 安藤 嘉崇

私はルーチン業務において生化学検査に携わっておりますが、日常業務では繁忙に追われ患者データを深くまで追求できていないことから、本研修会の「検査データをじっくり読み込む」というテーマに惹かれ参加しました。第一講義では、尿タンパクから尿中微量アルブミン、さらには尿中アルブミンと心血管疾患との関連まで細かくわかりやすく講義していただき、今までeGFRの低下が腎機能の大きな指標であり、尿中アルブミン値を軽視しがちであった考えを改める機会となり、大変有意義なものでした。第二講義では腎機能の基本的な解説から、合併症を起こす機序についてわかりやすくご講演いただきました。その中で一番印象的であったことは腎機能低下と骨代謝との関連でした。腎機能低下においてどうしてもクレアチニンや尿素窒素といった項目に目が行きがちでしたが、無機リンの排泄不良から骨密度の低下や異所性の石灰化が起こるという今まで自分の中では思いもよらなかった病態との繋がりを学ぶことができました。第三講義では、病態マップの作成をグループごとに分かれて行いました。まさに今回の研修会のテーマにふさわしい、患者データをじっくり読み込み、カルテを確認し、さらに追加検査としてどのような検査が必要かを考え、最終

的に患者の病名を考えるというものでした。また、講義して下さった小山先生の解説も大変わかりやすく、解釈の難しい患者データについてもすべての参加者が納得できるように解説して下さり、非常に有意義な講義でした。第四講義では血液ガスの基礎の基礎から、データを読む上での手順や注意点について詳しく解説していただき、そして最後に講義して下さった藤田先生自身が経験なさった症例をそのときどのように考えながら治療にあたったのかを踏まえながら解説していただき、ただ値を見るだけではなく、その時その時の患者データをどのように臨床側が診ているのかを学ぶことができました。

この研修会を通して、データをじっくりと読み解くとはどのようなことなのか改めて学びなおすことができました。特に病態マップ作成では一人の患者データを読み解くには様々な視点から患者データを考える重要性を学ぶことができたとともに、まだまだ自分の不勉強さを痛感する場でもありました。ルーチン業務の中で病態マップ作成のようなじっくりとデータを読み解いていくことは困難ですが、異常データの片鱗を見逃さないよう様々な視点から考える技師を目指していきたいと思いました。



第 56 回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テ ー マ：高齢者を理解しよう！糖尿病と認知症
日 時：平成27年11月29日(日) 13:00～16:20
場 所：名古屋大学医学部附属病院

中央診療棟 3 階講堂

一般講演

「高齢糖尿病患者を支える療養支援」

岡崎市民病院 看護師 吉田 照美

「認知症のある糖尿病患者へのインスリン自己注射指導」

安城更生病院 看護師 石川 香織

「やってみよう！認知症予防のための運動療法」

碧南市民病院 看護師 岡田 照代

特別講演

「糖尿病と認知症」

中部ろうさい病院

副院長 河村 孝彦 先生

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、
その他参加者1,000円



講演会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成27年12月5日(土) 14:30～16:50

場 所：愛知県産業労働センター
ウインクあいち10階 1003

共 催：生物試料分析科学会

テ ー マ：「透析とカルシウム代謝」

講 師：1. CaとIP代謝について

安城更生病院 蜂須賀靖宏

2. PTH測定の変遷と測定における問題点

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
サイエンティフィックソリューション部門

岡田 陽一

3. 臨床検査技師もここまでは知っておこう、透析療法の基礎

豊田厚生病院 臨床工学技術科

中前 健二

司 会：豊田厚生病院

中根 生弥

トヨタ記念病院

和出 弘章

内 容：わが国に於ける透析導入患者数は年々増加の一途を辿っております。今回は、透析療法の基礎から、透析患者に関わる検査について解りやすく解説します。多くの方の参加をお待ちしております。

講演会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成27年12月12日(土) 15:30～18:00

場 所：名古屋大学医学部 基礎研究棟第2講義室

テ ー マ：「エキスパートとしてのこだわり」

講 師：1. 「教科書では教えてくれない培地学講座」

栄研化学株式会社マーケティング推進室
竹下 康之

2. 「原点創意」

～なっていませんか“こなす姿勢”に～
J A 愛知厚生連医療事業部

犬塚 和久

司 会：刈谷豊田総合病院

藏前 仁

内 容：日常業務で何気なく目にしている事柄に

は確かな理由があり、それを理解しこだわりを持つ感性が我々を成長へと導いてくれます。今回、お二方のエキスパートにそれぞれの立場からのこだわりについて講演していただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

講演会

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：平成27年12月12日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋第二赤十字病院 3病棟 1階
研修ホール

テーマ：①「尿沈査の精度管理について」

②「髄液検査～新しい知見と考え方～」

講師：①名古屋市立大学病院 阿部 臨
②弘前市立病院 石山 雅大

司会：江南厚生病院 伊藤 康生

内容：①尿沈査結果の正確さを確認するための精度管理方法について報告していただきます。

②今夏、髄液検査技術教本が発刊され、基準値の見直しや新しい検査項目の紹介、血液や微生物、細胞検査など幅広い所見も加わりました。研修会ではさらにガイドラインや疫学調査を含めた内容をご紹介します。初心者の方からベテランの方まで多数の方の参加をお待ちしています。

講演会

輸血検査研究班・一般社団法人日本血液製剤機構共催

専門教科：20点

日時：平成27年12月12日(土) 15:00～17:30

場所：名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂

テーマ：アルブミン製剤の一元管理と適正使用

講演 1：「中規模施設の一元管理」

公立西知多総合病院 加藤 俊樹

講演 2：「大規模施設の一元管理」

安城更生病院 上田 智子

特別講演：「アルブミン製剤の一元管理と適正使用について」

大阪医科大学付属病院 准教授

河野 武弘

司会：日進おりど病院

小木曾 美紀

内容：平成27年6月1日付けで「科学的根拠に基づいたアルブミン製剤の使用ガイドライン」が作成されました。ガイドライン作成委員の河野先生にその経緯や解説をお願いします。また、輸血部門でのアルブミン製剤の一元管理を、施設の状況に応じて実践されている事例を紹介します。

講演会

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

日時：平成27年12月12日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋大学医学部基礎研究棟 1階
会議室 2

テーマ：「次世代シーケンサーについて学ぼう」

講師：1. 「次世代シーケンサの基本原理と臨床研究の最前線」

サーモフィッシュャーサイエンティフィック(株)
アナトミカルパソロジー部

大滝 真作

2. 「名古屋大学神経内科における次世代シーケンス解析」

名古屋大学大学院

難治性神経疾患治療学 曾根 淳

司会：名古屋大学医学部附属病院 渡邊かなえ



【公益社団法人 愛知県臨床検査技師会ホームページ】



<http://www.aichi-amt.or.jp/?mode=general>
【一般の皆様へ】

http://www.aichi-amt.or.jp/aim_top?mode=aim
【臨床検査技師を目指す皆様へ】

http://www.aichi-amt.or.jp/current_top?mode=current
【検査技師の皆様へ】



研究班のページ
New



カレンダー表示



行事・イベント写真集



行事申し込みフォーム
New